

船場をもっと知ってもらうために

船場「まちの案内板」 ガイドライン



船場倶楽部
SEMBA CLUB

はじめに

このガイドラインがお伝えしたいこと

船場地区は大阪の歴史的・文化的な中心市街地です。

大阪本来の文化や歴史が詰まった船場は、とても魅力に富んだまちです。

私たちはこの魅力を、もっと皆様に発信し、お伝えできたらと思っています。

そこで船場倶楽部では、大阪市と協力して船場の魅力を伝えていくための案内板の設置をすすめています。

案内板は、船場独特の落ち着いたまち並みとの調和を考え、デザインなどをある程度統一しながら、

設置するそれぞれの土地や建物ごとに、固有の情報を加えてご案内します。

そうすることで船場地区はもっと分かりやすく、もっと楽しく、もっと魅力的になっていくと考えています。

ご興味をお持ちいただいた方、ご自分の土地や建物に設置しても構わないとお考えの方など

いらっしゃいましたら、まずは船場倶楽部にご相談ください。

さまざまな設置方法の説明や、設置にむけてのお手伝いをさせていただきます。

私たちのまちは、私たちの手で守り、良くしていきたいと願っています。

船場のまちの案内板の設置に、どうかご協力をお願いいたします。

大阪市の進める事業と連携します

大阪시는、船場地区内の無電柱化や周辺環境と調和した道路整備などに取り組むことによって、

新しい集客拠点化を図る事業を進めています。

あわせて回遊性の向上を図るしくみとして、観光案内板を設置しています。

船場倶楽部は、市と基本協定を交わし、連携してその推進を担うこととし、

まちの案内板を船場地区に普及させたいと考えています。

船場「まちの案内板」とは…

- ・さまざまな方が設置者として参加しやすいよう、緩やかなガイドラインとします。
- ・船場らしさと統一感のあるデザインや仕様になることを目指します。
- ・来訪者にも、地域の人たちにも、分かりやすく歩きたくなるまちの案内板とします。
- ・デザインから維持管理まで、大阪市や地域の企業、活動グループなど、地域のみなさんが参加し、協力しあって育てていきます。

1. 設置場所

大阪市中央区船場地区内(P2の位置図の範囲)に設置します。

船場地区内の土地建物で、設置希望者との協議により決めます。

2. 設置者

大阪市だけでなく、船場倶楽部や、地域の企業・活動グループなど、自ら発意すればどなたでも設置者となることができます。

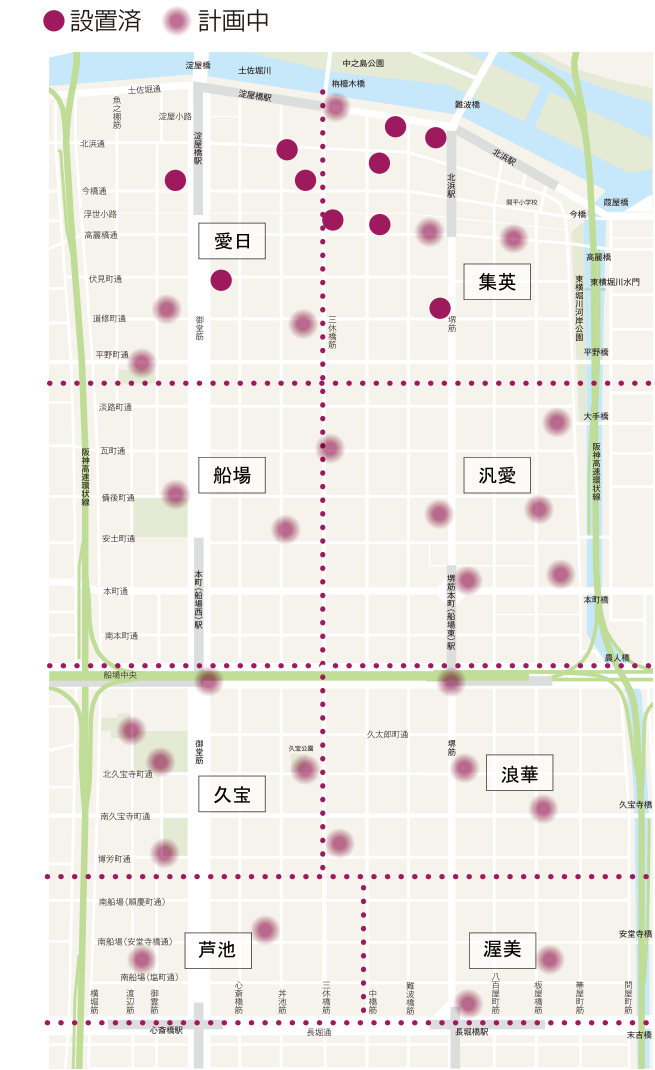
3. 案内板の種類

案内板は設置場所によって、目的別に表示の内容を変えることとします。

案内板の種類と役割・内容は、P4、P5の **表-1** をご覧ください。



設置済み箇所・位置図 2018年5月末現在



設置例

大阪市設置の案内板(適塾前)



完成式(大阪市設置の案内板)



ゲートタイプ 堺筋 | 北浜中央ビル



ストリートタイプ・縦型

堺筋道修町通 | 小野薬品工業株式会社



ストリートタイプ 土佐堀通 | 大阪シティ信用金庫



スポットタイプ 高麗橋通 | 株式会社池田商店



デザイン・ガイドライン

本ガイドラインでは、案内板の種類とデザインモデルをお示しします。
以下の手順を参考にして、統一感のあるデザインとなるようにしてください。

1. 大事にする表現のチェックポイント

- ・分かりやすくて親しみのある案内を、簡潔で洗練されたデザインで表現します。
- ・歩く人の目線で、行ってみたくなる雰囲気と、まちの思いを柔らかく伝えます。

2. デザイン制作の手順

以下の順に、「表」「モデルパターン」を参考にデザインを進めます。

1. 案内板の設置場所を決め、そこにふさわしい案内板の種類を選択します。
P4、P5の「表-1」に、それぞれの「案内板のタイプの種類と役割」を示しています。
2. 盤面の大きさ、形を決めます。
設置する場所(屋外、壁面など)によって、案内板の大きさ・形にはバリエーションが可能です。
P4、P5の「図-1」のサインデザインパターンを参考に、案内板の盤面の形・大きさと、盤面を固定するボディ・フレームを選択してください。
3. 盤面のレイアウトや、書き込む記事の内容、地図を検討します。
下記モデルを参考に、記事内容および地図表示のデザインをしてください。

3. 盤面デザインの作成要領

汎用モデル「B ストリートタイプ」を例に盤面作成要領の説明をします。

他のタイプも、これを参考に制作してください。

汎用モデル—B ストリートタイプによる例

区域地図の表示

1. 案内板を設置する通と、それを挟んで南北2本の主要幹線道路を表示する。
2. 地図に記載する、通、筋、河川、橋の名称は、地域で長年使われてきた名称を優先使用する。
3. 地図には、現在地、地域に残る主要な史跡、建物(重要文化財など)及び、学校などの主要公共施設を記載する。
4. 建物の表示は敷地表示とし、史跡などは●で表示する。
5. 建物・史跡の英文表示をする。

「参考資料」

- ・「わが町 船場」(平成6年開平小学校編著)
- ・中央区史跡文化事典(平成20年大阪市中央区役所)
- ・「生きた建築ミュージアム・大阪コレクション」

通・筋の表示

通・筋を中央に、交差する主要幹線道路名を左右に記載する。

「通・筋」の表示



「通・筋」の紹介
記事：約150文字

周辺のまち紹介 記事①・記事②
記事①・②ともに
約150文字

設置者情報

英文表示 全ての名称・記事に英字表示を併記

方位
見る人の向きを中心に

挨拶
ようこそ船場へ

区域地図
データは船場倶楽部から提供

船場の概要
タイトル表記・文章：約120文字

広域地図

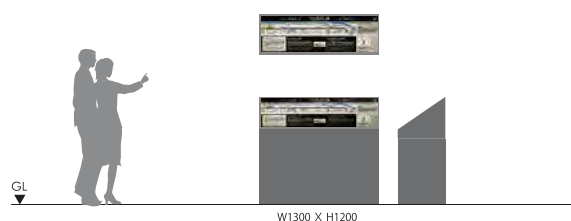
QRコード
リンク先
https://semba-navi.com/

案内板の種類 表-1

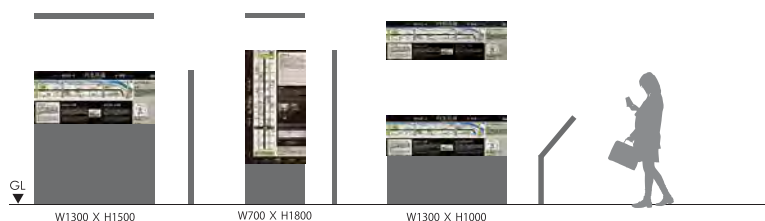
種類		A ゲートタイプ	B ストリートタイプ
各タイプの役割・モデルパターン		現在地から「船場地区全体」の面を中心に案内する 	現在地の「通・筋」の線、周辺地区を案内する 
設置場所		①地下鉄駅(6駅)の地上出入口付近、及び心斎橋、梅檀木橋などまちの起点になる位置に設置する ②「通・筋」の公共用地(電源BOXの上など)に設置する場合もある ③各連合振興町会にバランスよく配置する	①「通・筋」の公共用地(電源BOXの上など)、または「通・筋」に面する設置者の敷地内空地(公開空地を含む)などに設置する ②「通・筋」に数カ所、各連合振興町会にバランスよく配置する
設置者		①大阪市又は船場倶楽部(会員を含む)	①大阪市又は船場倶楽部(会員を含む) ②船場倶楽部に申出のあった企業や店舗など
内容	(1)位置情報《必須》	《地図》 ①広域地図に、船場の区域図と現在地の「通・筋」の位置を表示する ②船場区域図に、「通・筋」の名称、及び現在地を表示する ③公共施設・避難施設・主要な建物・史跡スポットを表示する	《「通・筋」の表示》 「通・筋」名称と主要幹線道路(御堂筋・堺筋・本町通など)への方向・方位を示す。 《地図》 ①広域地図に、船場の区域図と現在地の「通・筋」の位置を表示する ②現在地を中心に、3つの「通・筋」の区域図に、現在地及び周遊スポットを表示する ③主要幹線道路を2つ以上表示する
	(2)まち情報《必須》	《挨拶》「ようこそ船場へ」を表示する 《船場概要》 ①船場地区の概要を記述する ②古地図などにより船場のまち全体を表示、あるいは現在の「通・筋」の名称を表示する ③まちの様子を表す図絵などを表示する	《挨拶》「ようこそ船場へ」を表示する 《船場概要》船場地区の概要を記述する 《「通・筋」の紹介》「通・筋」の歴史、由来、物語を記述する 《周辺のまち紹介》 現在地周辺の歴史、由来、物語、スポット情報などを2つ記述し、図・写真を適宜挿入する
	設置者のオプション《選択》	《設置企業広報など》 なし	《設置企業広報など》 「周辺まち紹介」の1つを、企業と船場の関わりなどを記す「企業広告」とすることもできる
	(3)関連情報ツールなど	船場ナビ(ポータルサイトのQRコード)による周辺スポット情報などを紹介 設置者情報(協賛企業を含む)	同左

サインデザインパターン 全体(盤面、ボディ・フレーム) 図-1 *表示サイズは参考値です。

電源BOX上タイプ 電源BOX上に設置するタイプです。



自立タイプ(プレートタイプ) プレートにて自立するタイプです。

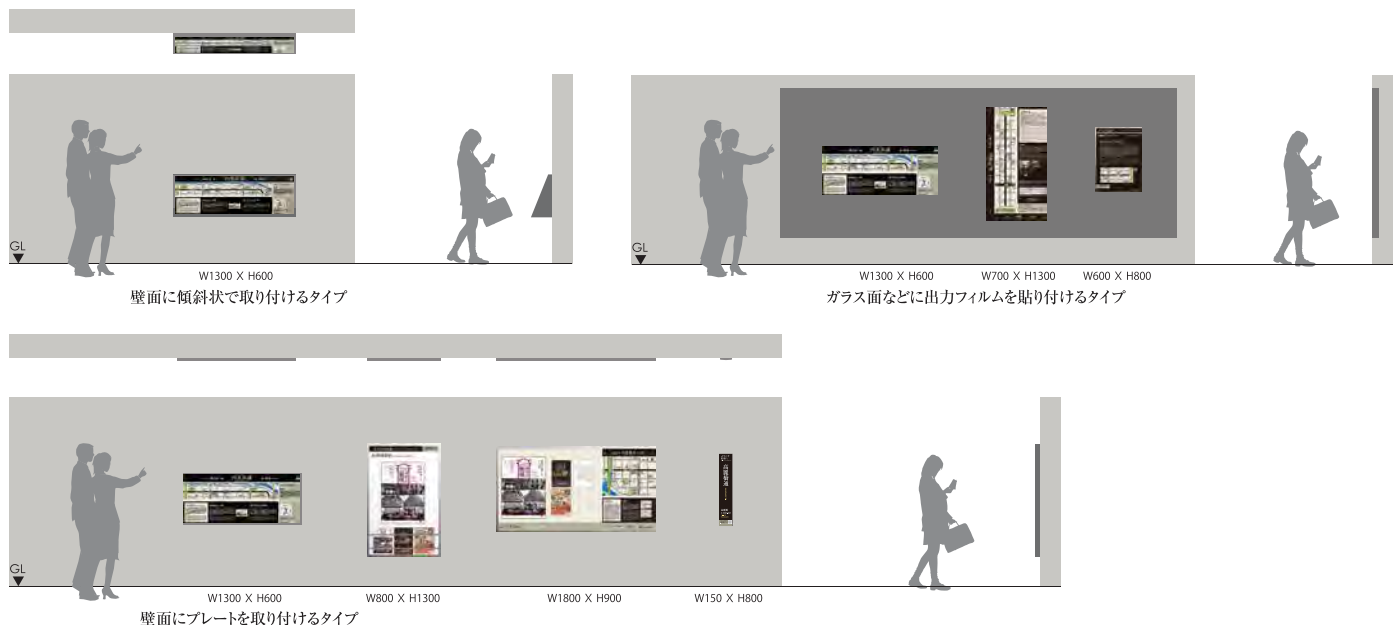


自立タイプ(2本柱タイプ) 左右の2本フレームにて自立するタイプです。



C スポットタイプ	D 掲示板タイプ	E 通名・筋名タイプ
現在地の「建物」や「史跡」などスポット(点)を案内する 	現在地の住所を表示するとともに生活・イベント情報の掲示案内をする 	「通・筋」の名称を表示するとともに、企業名・企業広報を行う 
設置者の敷地内空地(公開空地を含む)や建物壁面などに設置する	①多くの人が通行、あるいは立ち寄る企業や店舗などで設置の協力が得られる場所に設置する ②各連合振興町会にバランスよく配置する	設置者の建物敷地内や建物壁面などに設置する
同左	同左	同左
《住所表示》 「通・筋」の名称と現在地の住所を表示する 《地図》 ①原則、地図を挿入する ②現在地を含む「通・筋」の区域図に、現在地及び周遊スポットを表示する ③主要幹線道路を1つ以上表示する	《住所表示》 「通・筋」の名称と現在地の住所を表示する 《地図》 C スポットタイプに表示する程度の地図情報を表示することもできる	《住所表示》 「通・筋」の名称と現在地の住所を表示する
《挨拶》「ようこそ船場へ」を表示する 《スポット情報》 建物や史跡の歴史、由来、関連する物語を記述し、図・写真を適宜挿入する	《挨拶》「ようこそ船場へ」を表示する 《情報掲示》 ①ポスター、チラシなど生活・イベント情報を掲示する ②A2のポスター2枚を掲示できるスペースを確保する ③入れ替えが可能とする	《挨拶》 「ようこそ船場へ」を表示する
《設置企業広報など》 一部に、企業と船場の関わりなどを記す「企業広告」とすることもできる	《設置企業広報など》 一部に、企業と船場の関わりなどを記す「企業広告」とすることもできる	《設置企業広報など》 なし
同左	同左	同左

壁面タイプ 壁面・ガラス面にプレートあるいは出力フィルムを貼るタイプです。



お願い事項

1 案内板の設置場所と費用のご提供

建物の建替え、外装リニューアルなどの機会に、又、建物敷地内の空地や外壁などに、案内板の設置場所の提供をいただくと共に、製作・工事費用についてご負担願います。案内板のデザインや記事内容などについては、船場倶楽部がご協力します。

2 船場倶楽部へのご入会

設置の際の前提条件として、船場地区のまちづくり活動にご理解とご協力をいただきたく、法人正会員または法人賛助会員への加入を、お願いしています。

法人正会員 3口以上(1口、1万円/年)

法人賛助会員 1口以上(1口、1万円/年)

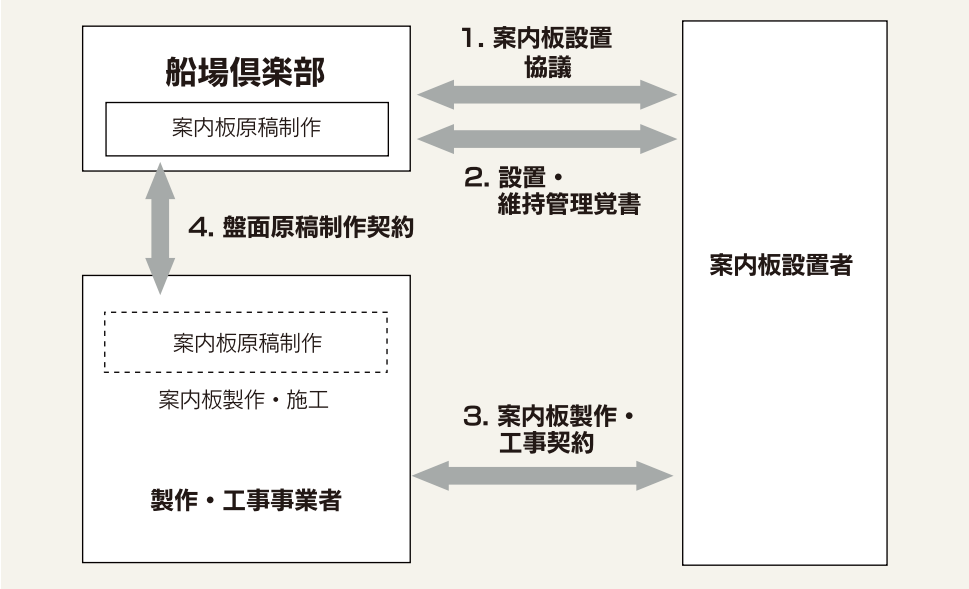
3 設置後の維持管理

- ① 設置後の維持管理*は、設置者をお願いしております。
* 日常の点検・清掃から、汚れ・落書きの除去、傷・塗装剥離、錆の補修など。
- ② 案内板は、劣化などにより概ね10年毎に盤面更新が必要になると考えられます。
つきましては、設置者に盤面更新の方法として、以下の選択をお願いしています。
A. 船場倶楽部に委託するケース(台座やフレームは含みません)
この場合は、②の会費を一口追加加入していただきます。
B. 設置者ご自身が負担して盤面更新をするケース
- ③ 上記の内容を、[覚書]として船場倶楽部と締結していただきます。

製作、工事などの手順

案内板の盤面原稿の制作、案内板フレーム製作と設置工事発注の手続きなどは以下のように進めます。

- 1. 案内板設置の協議(案内板設置者と船場倶楽部)
設置・ガイドラインに沿って、案内板の種類、盤面内容、設置にかかる諸手続きなどについて協議します。
- 2. 設置・維持管理の覚書
案内板の設置(種類、盤面内容、費用)、維持管理方法(日常的維持管理、更新、費用負担)などについて覚書を締結します。
- 3. 案内板の製作と工事発注
設置者が行い、船場倶楽部はこれに協力します。
- 4. 盤面原稿制作
盤面原稿制作(文面・デザイン・原稿など)にかかる費用は、案内板の種別毎に別途協議します。
- 5. 大阪市との事前協議
大阪市都市景観条例による重点届出区域(御堂筋・堺筋・土佐堀通など)では、設置に当たって大阪市との事前協議が必要です。
* 必要に応じて船場倶楽部が代行しますが、代行費用が必要です。



船場をさまざまな媒体と人で結ぶ情報発信

案内板と連動して、印刷媒体、インターネット、そして船場の施設・会社・店などとメッセンジャーの協力も得て広く情報発信を行います。



船場倶楽部

「船場倶楽部」は船場の次のまちづくりを目指しています。

船場地域の地域連合振興町会・商業団体・法人企業・まちづくり団体、そして地域の社寺も参加する団体です。来街者や地域に暮らす人びと・働く人びととの交流や連携を深め、船場のまちの課題は自分たちで解決していくことを目指します。あわせて新しいまちの資源や魅力の発見と創出に努めていきます。

船場倶楽部では、協力・協賛・活動を共にしていただける「正会員」、及び活動を支援していただける「賛助会員」を募集しております。下記にお問い合わせください。

問い合わせ先

船場「まちの案内板」に関するお問い合わせ ▶ annaiban@sembaclub.com

「船場倶楽部」に関するお問い合わせ ▶ info@sembaclub.com

発行：船場倶楽部



www.sembaclub.com

イベントやエリア情報などを集約したポータルサイト

船場ナビ

<http://semba-navi.com>

船場ナビ

検索

